

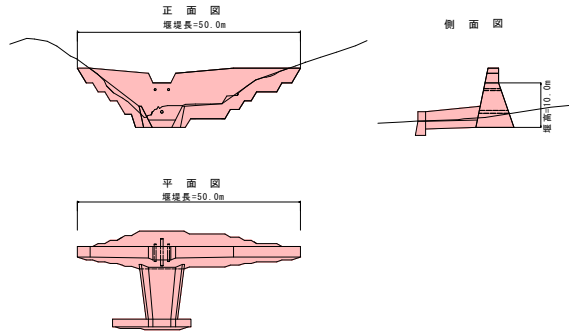
■効果の見える治水事業

香川県 宮田宮中上川 (仲多度郡まんのう町) の砂防事業 『宮田宮中上川 通常砂防工事』



香川県中讃土木事務所長 安西 慎

事業箇所	仲多度郡まんのう町
事業期間	平成 23 年度～平成 27 年度
全体事業費	195 百万円
事業計画	砂防堰堤 1 基
堤 高	10.0m
堤 長	50.0m
堤体積	1,740 m ³
溪流保全工	91.5m
貯砂量	10,725 m ³
流域面積	0.13 km ²



本溪流は、仲多度郡まんのう町買田に位置し、金倉川水系買田川に流れ込む流域面積 0.13 km²、平均河床勾配 1/5 の土石流危険溪流であり、下流域には保全対象として人家 10 戸、耕地 0.6ha に加え、緊急輸送路である国道 3 2 号が存在しています。

当流域では、平成 16 年 9 月に発生した台風 21 号の影響で山腹崩壊や溪岸浸食が発生したほか、流域内に不安定土砂が堆積しており、降雨によりさらなる土石流災害の恐れがあることから、土砂災害の発生を未然に防止し、住民の方々の生命財産を守るため、砂防堰堤の建設を計画しました。

当事業は平成 23 年度に事業着手し、地元住民の皆様のご協力のもと平成 27 年 12 月に完成しました。



完成した堰堤



流域全景と保全対象

世界かんがい施設遺産・満濃池のある町「まんのう町」



まんのう町長 栗田 隆義

香川県の南西部に位置するまんのう町は、平成 18 年 3 月に 3 町が合併し誕生、本年度で 10 年が経過し、合併 10 周年を記念して数々の記念行事を開催したところであります。この記念すべき年に、本町に在する日本最大級のため池満濃池が国際かんがい排水委員会 (ICID) の世界かんがい施設遺産に登録され、感慨深くまた思い出に残る年となったところでございます。農業を営むには用水の確保は極めて重要であることは申すまでもありません。水路や堰の管理など厳格な水利慣行も継承され今日に至っているところでございます。



満濃池

数多くのため池が在するまんのう町にとって、ため池の一つひとつが、かんがい農業には欠くことのできないものです。

一方で水の源である林野に目を向けると林野率 70% を有する本町においては、多面的に有益な機能を発揮する森林資源の維持管理は、木材価格が低迷するなかでも非常に重要な課題のひとつであります。また、主伐適齢に達している木材利用の一環として、町産材を使用する住宅に対して助成を行うとともに、公共施設の建設資材に使用するなど、積極的に町産木材を利用しているところでございます。



カリンの丘公園野外交流施設



近年地球温暖化による想像を絶する豪雨が発生しており、自然環境維持、洪水調整などで住民に寄与する森林を守るための治山、河川の氾濫等を防止する治水のための整備も非常に重要です。特に地形が急峻な地域においては、豪雨により土石流が発生することも考えられ、下流の民家及び農地等に甚大な被害を及ぼすことも予想されます。

このたび、香川県において実施された砂防事業により、宮田宮中上川の砂防堰堤が平成 27 年 12 月に完成いたしました。当地域の土砂災害に対する備えができましたことに対して感謝申し上げます。治水砂防施設整備は一朝一夕には整備できないことから、今後まんのう町では、県及び関係団体と連携し、森林整備等を含め砂防事業を計画的に実施して参りたいと考えております。